

ニュース



## カジノ法撤回の意見書可決 京都・京田辺市会

京都府京田辺市議会は27日、12月定例会本会議で、26日に施行された統合型リゾート施設整備推進法の撤回とカジノ推進中止を求める意見書を可決した。

同市議会は定数20(欠員1)で1人が病気で欠席、意見書を提案した共産(5人)のほか、民進党議員らでつくる「みらい京田辺」(3人)と無所属1人が賛成、公明(2人)と無所属2人が反対したが、保守系の一新会4人は退席し、賛成多数で可決した。

共産党京都府委員会によると、同法成立後に撤回を求める意見書が可決されたのは、府内では京田辺市議会が初めてという。

【2016年12月27日 22時40分】

Copyright (c) 1996-2017 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します

[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様](#)に(日本新聞協会)

[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)